

事業計画（アクションプラン）成果報告

チーム名称	情報発信チーム
メンバー	古谷、酒井、菊久池、西川、増田、賤間

1. チーム目標

事業団でInstagramを開設し、情報を発信するとともにHPに誘導し、求人や施設利用につなげる。

2. 目標達成に対する課題の要因分析

・情報発信、収集はSNSやインターネットに移行しており写真や画像、動画等視覚的な要素が主流になっている。
・事業団はHPのみの開設で情報を取得する入り口が狭く、情報発信の窓口を増やす必要がある

3. 課題解決及び目標達成に向けて実行したこと

目標達成までに解決すべき事項		準備段階	実施段階	評価段階
		4月～6月	7月～11月	12月～1月
①	時代に求められる変化に強い組織づくりを行うためにも、SNSの特性、メリットデメリットを理解し、個人情報等の取扱い等を整理し、使いこなせるようになる必要がある。	ネット検索やInstagramを開設している事業所への聞き取り。	ガイドラインや規程、マニュアルの素案の作成、規程に盛り込む必要のある事項の整理	ガイドライン、運用規定の起案と施行。
②	SNSでのなじみの地域住民との関係を継続するための場とするため掲載記事の項目や内容について頭出しをし、誰に向けての投稿になるか、掲載タイミング等を整理。	各自で他の事業所のInstagramを見に行き、記事の傾向等の情報収集	記事内容の頭出しと種別等をリスト化し、ハッシュタグについても必要なものを整理。公開時期などを協議し、記事作成。	公開時のスタートアップ投稿を選定し公開。
③	分析力や生産性向上支援力のある職員の育成のためにメンバー内でInstagramの見識と記事作成能力を向上させ、一定の機能が扱えるようにし、Instagramからの情報収集、発信を行えるようになる必要がある。	4月～6月 Instagramのアカウントを各自で作成し、実際に触ったり、ネット検索や動画で自己学習。	7月～11月 各自で記事を作成し、投稿と品評を行い、本格的な投稿記事の作成に着手。	12月～1月 各自で投稿記事を作成し、下書きやアーカイブに保存。

4. 目標達成により得られる効果



5. 今後の展開等について（プランの持続性、職員等法人に対し引き続き得られる効果）

継続的な投稿による、フォロワー数やHP閲覧数の増加、事業所からの情報発信が可能な環境整備のために引き続き情報発信委員会としての活動は必要。SNSを通じた事業者からの情報発信を行うことにより、若い世代の活躍や今後到来する、介護のICTに向けて、デジタル機器への抵抗感の軽減も見込める。

6. 自己評価

当初の予定よりInstagramの開設が遅れてしまい、1年という区切りの中での成果というところでは当初の目的を達成することができなかったが、Instagramを公開にまでこぎつけることはできた。今後も定期的な更新を行っていくとともに、当初の目的である、事業所からの情報発信ができる環境整備までたどり着けるようにしたい。